

LIBERTY小田原日本語学校 学校評価 (自己点検・自己評価)

【評価】 5…達成している 4…ほぼ達成している 3…どちらともいえない
 2…取組みを検討中 1…改善が必要

1. 教育理念・教育目標	評価
--------------	----

[教育理念]

- ◎神奈川県西部の文化・観光・商業の中心的な都市である小田原の地で、日本文化への交流の架け橋となる人材を育成する
- ◎「信頼」「協調」「感謝」の理念に基づき、地域と協調して、生徒から信頼され感謝される学校運営を目指す

[教育方針]

- 日本語学習を通して、日本文化の理解と自ら国際交流の活性化を図る一員としての自覚と態度を育成する
- 実生活に生きる、生きた日本語力を育成する

[学校教育目標]

- 日本での生活に適応できる日本語力を育み、社会生活に対応できる生活力と日本でのキャリア形成を可能にする自助力の育成を図る
- 日本語能力試験N2・N1合格を目標とする

1-1 教育理念・教育目標・育成人材像は明確に定められているか	5
1-2 教育理念・教育目標に基づく教育が行われているか	4
1-3 学校の将来構想を抱いているか	5
1-4 教育理念・教育目標が教職員、学生に周知されているか	4

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・今年度も教育理念、教育方針に沿って、授業を中心とした日本語力の向上と社会の中で使えるコミュニケーション能力の向上に努めた。クラスは、学習到達レベルにより分けており、中間・期末テストの結果によって再編成するなど、計画性と柔軟性をもって対応している。今後も生活に適応できる日本語力の向上に努めていく。併せて、教師個々の授業力の向上と地域社会との積極的な関わりを増やしていきたい。
- ・設立後 4 年を迎え適正校となり、知名度は徐々に向上してきている。今後も、教育理念、教育方針を積極的に情報発信し、地域に認められ共に歩む学校運営を目指していく。
- ・中期、長期のビジョンを策定し、学生の実態・ニーズ等に応じて毎年見直し実施していく。
- ・教育理念、方針等はHP掲載、校内掲示、学校案内等により周知に努めている。

学校運営	評価
2-1 運営方針は定められているか	5
2-2 事業計画は定められているか	5
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか	4
2-4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度は整備されているか	4
2-5 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
2-6 学校運営を客観域に評価し、維持向上させる機能が整備されているか	4
2-7 危機管理体制は整備されているか	4
2-8 施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか	5

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・教育理念、教育方針を基に作成した事業計画を見直し、学生に合った具体的な目標を定めた。目標達成に向け、主任教諭を中心に職員会議等で意思決定を図ると共にP D C Aのサイクルを重視し実践した。
- ・処遇・職場環境の改善に関する制度については、設置会社の人事規定により適切に運営されている。
- ・情報システムについては、経営母体である東海ビルメンテナンス本社に保守・管理を委託している。
- ・学生情報については、一元管理することによって効率化を図っている。
- ・危機管理体制としては、消防計画を管轄消防署に提出の上、年 1 回の避難訓練と地域防災訓練への参加、寮や教室で日常指導を行っている。

3. 教職員	評価
3-1 教育理念・教育目標が教員間で共有されているか	4
3-2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されているか	4
3-3 教職員評価を行っているか	4

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・年間計画に従い、校長、主任、常勤職員と学校運営関係者を交えて職員会議と月 2 回の定例会議を実施している。その中で、学生の学力の向上具合、授業に特組む姿勢や生活の様子等の情報交換をし、P D C Aの振り返りを行っている。また年度当初だけでなく、その都度教育理念、方針等について共通理解を図っている。
- ・今年度も、経験豊かな職員の指導力を若手職員に学ばせる場を設けた。また、先進校の授業の様子や教材なども参考に、授業実践、職員の指導力向上に努めた。
- ・非常勤講師については、年間 2 回の講師会と月に数回、校長、主任、常勤職員とカリキュラムの推進状況、学生の学力の状況等の意見交換会を行っている。
- ・学校評価については、今年度も学生の評価を取り入れていく。

4. 教育活動	評価
4-1 カリキュラムは体系的に編成されているか	4
4-2 授業評価の実施・表か体制はあるか	4
4-3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保しているか	4
4-4 成績評価は適切に行われているか	4
4-5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制は整っているか	4

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・カリキュラムについては、4月入学生 10月入学生に対応した年間計画を作成している。来年度も、学生の実態を見極め再度見直す。この基本計画の基に月毎、週毎、その日の実施計画を作成し実施していく。
- ・中間、期末試験毎に学生の学力を評価し、クラス編成を行っていく。
- ・教師の指導力向上のために、校内研修の機会を増やしていく。
- ・授業評価については、職員自己評価、学生の評価を充実させていく。
- ・各種日本語試験に対しては、特にJ L P T対策を中心に年間カリキュラムに位置付けて指導している。全員受験合格を目指している。

5. 学生支援	評価
5-1 進学・就職に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4
5-2 学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5
5-3 学生の心身の健康管理、事故、けがのサポート体制が整っているか	5
5-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	5
5-5 保護者と適切に連携しているか	3
5-6 卒業生への支援体制はあるか	3

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・学生の進路については、定期的な進路調査と指導、クラス担任や主任の面接により状況を把握している。年に2回、業者主催の進路説明会に全員が参加するほか、学生のニーズにより個別の進路説明会への参加も行っている。また、担任と進路担当者が連携し、願書の書き方指導や面接練習など学生個々にマンツーマンの指導を行っている。
- ・対象となる学生全員が国民健康保険に加入しており、管轄保健所の指導による健康診断も定期的を実施している。
- ・本校直営の学生寮を学校から徒歩圏内(一部自転車通学)に有しており、学生の生活指導に当たっている。定期的に職員が寮を巡回し、生活指導と共にご近所への声掛けも行っている。今年度は、巡回数をさらに増やした。
- ・学生に何らかの問題が生じた場合は、保護者や留学紹介機関と速やかに連絡を取り、連携して対応するように努めている。

6. 在籍管理・生活指導	評価
--------------	----

- | | |
|---------------------------------|---|
| 6-1 入国・在留関係の管理、指導と支援が適切に行われているか | 5 |
| 6-2 日本社会を理解するための支援が適切に行われているか | 5 |
| 6-3 我が国の法令を遵守するための指導を行っているか | 5 |
| 6-4 常に学生の最新情報を把握しているか | 4 |

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・入国・在留関係の管理、指導は、法に基づき的確に行っている。
- ・入学時にオリエンテーションで、遵守すべき社会的ルールや学則・基本的生活習慣や生活マナーについて指導している。特に、自転車の交通ルールについては管轄の警察職員を講師として招き徹底した指導を行うとともに、必要に応じて通学時に職員が様子を観察、指導している。
- ・学生情報は、個別にデータ管理を行っている。成績、出席状況、アルバイトの状況等をデータ管理し、それらに基づき、担任が指導している。また、必要に応じて校長、主任も指導している。
- ・週に3~4日は、職員が寮に出向き学生の生活の様子を把握すると共に、相談に乗るなどして生活指導と情報収集に努めた。

7. 学生募集・受け入れ	評価
--------------	----

- | | |
|---------------------------------|---|
| 7-1 学生の受け入れ方針は定められているか | 5 |
| 7-2 学生募集活動は、適正に行われているか | 5 |
| 7-3 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 5 |
| 7-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか | 4 |
| 7-5 適正な定員設定及び在籍者数になっているか | 3 |

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・学生の受け入れについては、受け入れ計画に基づき、学習目的、日本語学習歴、経費支弁能力等を厳密に審査し問題のない学生を受け入れている。
- ・学生募集については、現地の信頼できる留学紹介機関を厳選し契約を結んだ上で、受け入れ窓口としている。現地に職員が赴き、窓口となる機関との信頼関係を深め情報共有を図ることとしている。
- ・教育成果については、入学相談の際に学校生活や寮生活の様子や進路等の説明を行っている。
- ・入学選考については、ベトナム・タイ・ネパール・フィリピンについては本校職員が現地での入学希望者に対する学校説明の実施、学生本人と経費支弁者の面接を行い、他の国については Web 環境を用いた面接試験を実施している。これらの面接、日本語試験、書類審査手続きを本校の受け入れ基準に則り適正かつ公平に行っている。
- ・定員については、関連法規に基づき適正に設定している。

8. 財務	評価
-------	----

- | | |
|------------------------------|---|
| 8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 5 |
| 8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 5 |
| 8-3 財務について会計監査が適正に行われているか | 5 |

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・本校の経営母体である株式会社東海ビルメンテナンスにおいて、中長期的に財務基盤は安定している。
- ・予算・収支計画については、設置会社の株主総会及び役員会で審議・承認されており、また、定例会議にて、具体的な進捗状況の確認も行っており、有効かつ妥当なものになっている。
- ・決算については、適切な会計処理を行い顧問税理士による監査も行っており、監査結果については設置会社の株主総会で報告し、承認を受けている。

9. 法令の遵守	評価
9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5
9-3 関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5
9-4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
9-5 自己点検・自己評価を公開しているか	4

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・本校は、法令や設置基準を満たしており、東京出入国在留管理局横浜支局への定期報告等も適切に行っている。
- ・個人情報の扱いについては、設置会社のプライバシーポリシーに則り、個人情報の保護に努めている。
- ・自己点検・自己評価については今後も定期的に実施し、問題点の洗い出しに止まらず常に改善に努めていく。
- ・自己点検・自己評価の公開については、学校のホームページで公開している。

10. 社会貢献	
10-1 学生の教育資源や施設を利用した社会貢献を行っているか	3
10-2 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4

[現状・具体的な取り組み 課題]

- ・地域行事への積極的な参加呼びかけや学校公開、近隣小学校等との交流を実施し、地域の一員としての自覚を深めると共に異文化理解の向上に努めてきた。今年度も、市の最大イベントお城まつりの大名行列、地域の防災訓練に参加した。また、近隣小学校4年生の国際交流授業に参加した。

[総括]

開校後3年6か月、今年度適正校となった。まだ課題は多いが、職員一同、教育理念、教育方針の共通理解を図り授業実践に力を注ぎ取り組んできた。今後も、さらに組織の強化、一枚岩体制を構築していくと共に、教員の指導力の向上に努め、学生の日本語力、生活力の向上に努めていく。

次年度は、カリキュラムの再構築、学生個々の実態把握に力を注ぎ、指導法を工夫し授業の充実を目指していく。併せて地域との交流、日本文化の理解を深めるよう、地域や行政、ボランティア団体との連携を深めていく。